

「ゆっくりだが確実に進む米国の水素ビジネス」

米国は、脱炭素化を進めようとしているが、実際には混迷を極め、ウクライナ問題もあり、迷走をつづけている。この中で、「インフレ削減法案（IRA）」と、「インフラ投資・雇用法（IIJA）」はペアになって、半歩進んだイメージであり、水素はその柱の一つである。最近決まった7箇所の水素ハブを中心に、民間が「儲かる」と踏んで力を入れつつある。これらの状況を、米国（シリコンバレー）に38年居住し、エネルギー産業の流れをつぶさに見てきた講師が具体例を示しながら解説する。（1）バイデン政権の水素に関する政策（2）7箇所のクリーン水素ハブ（3）「水素製造・輸送・貯蔵」技術の動向（4）水素エネルギーを推進する企業（5）キラーアプリはどこに

■ 日時：令和6年 7/10（水）

14:00-15:40（13:45入室開始）

■ 会場：富山県新世紀産業機構技術交流ビル1階デジタルハブ
（講師が会場で講演します）（富山市高田529）
オンラインによるライブ配信併用

■ 定員：会場20名程度（先着）、オンライン視聴100名
（会場視聴は県内在住者限定）

■ 申込×切：令和6年7月5日（金）17時 締切

■ 対象者：県内企業の経営者、管理者、技術者等

■ 申込方法：視聴方法に応じて以下の①または②でお申込みください。

①会場で視聴：裏面の申込用紙にご記入のうえFAXまたは電子ファイルにしてメール添付で送信願います。

②オンラインで視聴：以下のURLまたはQRコードのフォームからお申込みください。
https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_0YNxwz59Qj-1fFDth8027g

※本セミナーは感染症対策に留意のうえ講師をお招きして開催致します。会場参加の方におかれましては受付での検温、手指の消毒等、感染予防にご協力をお願い致します。



講師

クリーンエネルギー研究所
代表 阪口 幸雄氏



講師
阪口 幸雄 氏
プロフィール

シリコンバレー在住の著名コンサルタント。

日立（日本と米国）にて17年間最先端の半導体の開発に携わったあと、そのビジネス経験や物性の知識を活用すべくエネルギー分野に。

米国のクリーンエネルギーと、日本のビジネスへの影響にフォーカスしたコンサルタント会社の代表をつとめ、シリコンバレーを中心に、エネルギー問題の定点観測を長期間行い、今後の動向と日本企業の対応についてのきわめて明解なビジョンを持つ。

シリコンバレーに38年在住。

オンラインでの
参加(視聴)方法

1. 申込み後、メールにてセミナーのURLをご案内いたします。インターネット接続環境があれば、このURLをクリックするだけで、パソコンやスマートフォン等から、参加(視聴)いただけます。
2. 当日の参加スケジュールは、下表のとおりです。

時間	内容
13:45-14:00	Zoomウェビナーへの入室
14:00-15:30	講演
15:30-15:40	Q&A質問への回答
15:40-15:45	退出、アンケート

3. 講演中は、画面の下部に表示されます「Q&A」からご質問をお受けします。
4. 当日の講演資料は、事前にメール配信するアドレスからダウンロードをお願いします。
5. 講演終了後、アンケートへのご協力をお願いします。

オンライン参加の際の
留意事項

- 参加者は事前登録制にしておりますので、視聴用のURLを別の方へ転送することはお控えください。視聴は、1メールアドレスにつき、1名とします。
- 著作権保護等の点から、講演の録画、録音、撮影、およびSNS等へのアップロードは禁止いたします。
- Zoomは無料でご利用いただけますが、インターネットに接続するための通信料金は、参加者のご負担となります。
- 講演資料の印刷は可能ですが、データの公開やコピーは禁止いたします。
- ご提供いただいた氏名等の個人情報は、当セミナーの運営のみの目的で使用し、他の目的には使用しません。

会場視聴申込書

FAX: 076-433-4207 E-mail: m.hayashi@tonio.or.jp

参加者間の交流を図るため、会場参加者の方には参加者名簿を配布したいと存じます。（お名前の無記名を希望の方を除きます。）名簿記載有または無を○で囲んでください。

企業名・団体名			
お名前			
名簿	記載可	記載不可	
TEL			
E-mail			
所属部署		職位または職名	